

クラスター	炎症・免疫系クラスター			
授業科目名	炎症学(Ⅰ)・実習			
担当者名	責任者	南谷 佳弘	分担者	今井 一博
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
授業の概要・到達目標				
授業の目的: 肺癌におけるセンチネルリンパ節理論とその同定方法について理解することを目的とする。また、肺癌診療における、呼吸器外科領域のガイドラインと免疫療法について学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 肺癌におけるセンチネルリンパ節理論とその同定方法を理解し、説明することを目標とする。また、肺癌診療における、呼吸器外科領域のガイドラインと免疫療法を習得し、実践することを目標とする。				
授業の概要:				
2,3,4,5. 肺癌におけるセンチネルリンパ節理論: センチネルリンパ節 (SN) の概念は、癌腫からのリンパ流が最初に到達するSNに転移を認めなければ、それ以遠のリンパ節への転移を認めないということである。肺癌診療への導入の意義は、通常のリンパ節郭清よりも技術的に難しい肺区域切除や胸腔鏡下肺葉切除におけるリンパ節郭清の省略と思われる。これら肺癌における SN 理論とその同定方法について供覧する。(担当: 南谷)				
6,7,8,9,10. 呼吸器外科領域のガイドライン・肺癌に対する免疫治療: 肺癌診療における、最新の呼吸器外科領域のガイドラインを紐解く。また、免疫チェックポイント阻害薬は、「Long tail effect」と呼ばれる効果により、腫瘍の PD-L1 陽性細胞(免疫組織学染色)が 50 %以上の患者では持続的な高い治療効果が得られることが知られている。肺癌診療における免疫療法の位置づけを解説する。(担当: 今井)				
授業計画				
	講義 (講義内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕	
1	レポート提出の案内	南谷 佳弘	胸部外科学 〔講座カンファレンスルーム〕	
2	肺癌におけるセンチネルリンパ節理論	南谷 佳弘		
3				
4				
5				
6	呼吸器外科領域のガイドライン	今井 一博		
7				
8	肺癌に対する免疫治療	今井 一博		
9				
10				
授業形態および成績の評価方法・基準				
講義室(研究室)での講義30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果、提出したレポートの内容を考慮して行う。				
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)				
南谷 佳弘, minamiya@jd6.so-net.ne.jp				
その他特記事項				
履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。				
教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。				
自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				